

第 学年単元名	
単元 の 目標	
最終 の 言語活動	

最終の言語活動におけるやり取りのイメージ

イメージ1	イメージ2

発問の構成と具体の発問

発問	分類	場面	具体の発問
（目的・場面・状況に応じた）活用を促す発問	a 言語材料の使用		▶単元で扱う言語材料を用いて問い掛け，伝えたい事実やその時の気持ちを考えさせます。
	d 内容構成		▶目的・場面・状況に応じた伝え合う内容を考えさせます。
	e 英語表現の工夫		▶相手に適切に応じたり，自分の考えや気持ちを伝えたりするための表現を考えさせます。
	f コミュニケーションスキル		▶アイコンタクトやジェスチャーなど，相手に伝わりやすい話し方や聞き方を考えさせます。

Let’s check！ 最終の言語活動

児童にとってこんな活動になっていますか？ ☐ 興味・関心を持つことができる。 ☐ 達成感を味わうことができる。 ☐ 「誰に」「何のために」という相手意識や目的意識を持つことができる。 ☐ 事実だけでなく，自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 ☐ 新出の言語材料や既習表現を使って自由にやり取りの内容を工夫できる。 ☐ やり取りによって相手のことをよく知ることができる。	Let’s check！ 発問 つくった発問を確認してみましょう。 ☐ 発問によって伝えたいことを繰り返し考えさせることができますか。 ☐ コミュニケーションで使う英語表現に気付かせることができますか。 ☐ 児童の相手意識や目的意識が高まる発問になっていますか。 ☐ 児童が発問に答えられないときの支援は考えましたか。 支援例・ペアやグループで意見交流をさせよう ・過去の言語活動やチャンツなどから既習表現を想起させよう ・写真や絵カード，動画などの視覚的な提示を用意しよう
--	--

発問づくりシート（例）

【小学校版】

第6学年単元名	Unit3 Let’s go to Italy. 【NEW HORIZON Elementary English Course 6（東京書籍）】
単元の目標	おすすめの国やそこでできることについて, 短い話を聞いてその概要が分かったり, 考えや気持ちを伝え合ったりすることができる。
最終の言語活動	旅行代理店を開き, お客にツアープランを作ったり, 店員に自分の希望を伝えたりするために, おすすめの国やそこでできることについて伝え合う。

最終の言語活動におけるやり取りのイメージ

イメージ1 S1： Welcome to my shop. Australia is a nice country. You can see koalas and kangaroos. Do you like animals? S2： Yes, I do. I want to see koalas. S1： That’s nice. You can eat steak. It’s big. S2： That’s good. I like steak. S1： You can buy chocolate, macadamia nuts and tea. What do you like? S2： I like chocolate. S1： OK. You can see koalas. You can eat steak. You can buy chocolate.（ツアープランを見せて確認する） S2： OK. S1： Here you are.（ツアープランをプレゼントする） S2： Thank you.	イメージ2 S1： Welcome to my shop. America is a nice country. What do you want to eat? S2： I want to eat hamburgers. S1： You can eat very big hamburgers. S2： Oh, that’s nice. S1： You can see the Statue of Liberty. Do you know? S2： Yes, I do. Where (can we see)? S1： New York. S2： I see. I want to see the Statue of Liberty. S1： OK. You can buy T-shirts, potato chips , peanut butter. What do you want to buy? S2： I want to buy peanut butter. S1： OK. This is for you.（ツアープランをプレゼントする） S2： Thank you.
--	---

発問の構成と具体の発問

発問	分類	場面	具体の発問
（目的・場面・状況に応じた）活用を促す発問	考えの形成を促す発問	a 言語材料の使用	・SO 後のやり取り ・YT, Let’s Try ・Small Talk 導入時
		d 内容構成	・第1時, 単元の導入時 伝え合いたい内容を決めるとき ・YT のやり取り
		e 英語表現の工夫	・Small Talk のデモンストレーション後 ・YT, Let’s Try のやり取り ・EC, Step3でのやり取り
		f コミュニケーションスキル	・毎時間のやり取り ・最終の言語活動前

SO…Starting Out / YT…Your Turn / EC…Enjoy Communication / OH…Over the Horizon

Let’s check！ 最終の言語活動

児童にとってこんな活動になっていますか？ ☒ 興味・関心を持つことができる。 ☒ 達成感を味わうことができる。 ☒ 「誰に」「何のために」という相手意識や目的意識を持つことができる。 ☒ 事実だけでなく、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 ☒ 新出の言語材料や既習表現を使って自由にやり取りの内容を工夫できる。 ☒ やり取りによって相手のことをよく知ることができる。	Let’s check！ 発問 つくった発問を確認してみましょう。 ☒ 発問によって伝えたいことを繰り返し考えさせることができますか。 ☒ コミュニケーションで使う英語表現に気付かせることができますか。 ☒ 児童の相手意識や目的意識が高まる発問になっていますか。 ☒ 児童が発問に答えられないときの支援は考えましたか。 支援例・ペアやグループで意見交流をさせよう ・過去の言語活動やチャンツなどから既習表現を想起させよう ・写真や絵カード、動画などの視覚的な提示を用意しよう
--	--

発問づくりシート（例）

【小学校版】

第6学年単元名	Unit3 Let's go to Italy. [NEW HORIZON Elementary English Course 6(東京書籍)]
単元の目標	おすすめの国やそこでできることについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、尋ねたりして答えたりして考えや気持ちを伝え合うことができる。
最終の言語活動	旅行代理店を開き、お客にツアープランを作ったり、店員に自分の希望を伝えたりするために、おすすめの国やそこでできることについて考えや気持ちを伝え合う。

最終の言語活動におけるやり取りのイメージ

イメージ1	イメージ2
S1: Welcome to my shop. Australia is a nice country. You can see koalas and kangaroos. Do you like animals?	S1: Welcome to my shop. America is a nice country. What do you want to eat?
S2: Yes, I do. I want to see koalas. It's cute.	S2: I want to eat hamburgers.
S1: That's nice. You can eat steak. It's big.	S1: You can eat big hamburgers. It's delicious.
S2: That's good. I like steak.	S2: Oh, that's nice.
S1: You can buy chocolate, macadamia nuts and tea. What do you like?	S1: You can see the Statue of Liberty. Do you know?
S2: I like chocolate.	S2: Yes, I do. Where?
S1: OK. You can see koalas. You can eat steak. You can buy chocolate. (ツアープランを見せて確認する)	S1: New York.
S2: OK.	S2: I see. I want to see the Statue of Liberty.
S1: Here you are. (ツアープランをプレゼントする)	S1: OK. You can buy T-shirt, potato chips, peanut butter. What do you want to buy?
S2: Thank you.	S2: I want to buy peanut butter.
	S1: OK. This is for you. (ツアープランをプレゼントする)
	S2: Thank you.

発問の構成と具体の発問

発問	分類	場面	具体の発問
（目的・場面・状況に応じた）活用を促す発問	考えの形成を促す発問	a 言語材料の使用	▶単元で扱う言語材料を用いて問い掛け。伝えたい事実やその時の気持ちを考えさせます。 ・What country do you like? [I like~.] ・Why do you like~? [I like~, I want to~, It's~.] ・What food do you like? [I like~.] ・What do you want to see/eat/buy?[I want to see/eat/buy~.] ・What do you want to do?[I want to~.] ・What can we see/eat/buy?[You can see/eat/buy~.]
		d 内容構成	▶第1時、単元の導入時 伝え合いたい内容を決めるとき ・YTのやり取り ▶目的・場面・状況に応じた伝え合う内容を考えさせます。 ・旅行に行く前にどのようなことを知りたいですか。[観光地、食べ物、お土産など] ・みなさんの好きな国には、どのような観光地や食べ物、お土産がありますか。 〔(アメリカの場合)自由の女神、ハンバーガーなど〕
		e 英語表現の工夫	▶相手に適切に応じたり、自分の考えや気持ちを伝えたりするための表現を考えさせます。 ・会話を続けるために、相手にどのような言葉を返していましたか。[Me, too., I see., Do you like~?など] ・観光地や食べ物などを伝えるために、どのような表現を使いますか。[You can see/eat/buy~.] ・「きれい」や「おいしい」など、観光地や食べ物を詳しく伝えるためには、どのような表現を使いますか。 [It's beautiful., It's delicious. など] ・聞かれた情報について知らないときには、どのような表現で伝えますか。[Sorry., I don't know.] ・お客さんを迎えるときは、どのような表現を使いますか。[Hello., Welcome.] ・お客さんの希望を聞くために、どのような表現で尋ねますか。[What do you like?, What do you want to~?] ・選んだ理由を伝えるために、どのような表現を付けたりしますか。[It's~(味・様子), I like~.]
		f コミュニケーションスキル	▶アイコンタクトやジェスチャーなど。相手に伝わりやすい話し方や聞き方を考えさせます。 ・毎時間のやり取り ・最終の言語活動前 ・伝え合うときの話し方や聞き方はどのようにしたらよいでしょうか。 〔アイコンタクト、相手の反応を見ながら話す、分かったら相づちを打つ など〕

SO...Starting Out / YT...Your Turn / EC...Enjoy Communication / OH...Over the Horizon	
Let's check! 最終の言語活動	Let's check! 発問
児童にとってこんな活動になっていますか? ☒ 興味・関心を持つことができる。 ☒ 達成感を味わうことができる。 ☒ 「誰に」「何のために」という相手意識や目的意識を持つことができる。 ☒ 事実だけでなく、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。 ☒ 新出の言語材料や既習表現を使って自由にやり取りの内容を工夫できる。 ☒ やり取りによって相手のことをよく知ることができる。	つくった発問を確認してみましょう。 ☒ 発問によって伝えたいことを繰り返し考えさせることができますか。 ☒ コミュニケーションで使う英語表現に気付かせることができますか。 ☒ 児童の相手意識や目的意識が高まる発問になっていますか。 ☒ 児童が発問に答えられないときの支援は考えましたか。 支援例・ペアやグループで意見交流をさせよう ・過去の言語活動やチャンツなどから既習表現を想起させよう ・写真や絵カード、動画などの視覚的な提示を用意しよう

Step 1 単元の目標と最終の言語活動を定める

- ◎児童が興味・関心を持って伝え合いたいと思うような目的・場面・状況を設定します。
- ◆“Let's check! 最終の言語活動”でセルフチェックをしてみましょう。

Step 2 最終の言語活動でのやり取りのイメージを持ち、2例以上、具体的に書く

- ◎新出の言語材料や既習表現を活用して、児童がどのようにやり取りを展開できるかを考えます。
- ◎「対話表現集」の中から、どの対話表現が活用できるかを考えます。

Step 3 発問の分類を確認する

- ◎『考えの形成を促す発問』は、伝え合いたいことを考えさせる発問です。
- ◎『(目的・場面・状況に応じた)活用を促す発問』は、内容構成や英語表現の工夫、コミュニケーションスキル(アイコンタクト、表情等)について考えさせる発問です。

Step 4 発問を具体的に考え、記入する

- ◎「言語材料の使用」
単元で扱う言語材料を用いて問い掛けたり、答えさせたりします。
- ◎「内容構成」
目的・場面・状況に応じた伝え合う内容を考えさせます。
- ◎「英語表現の工夫」
相手に適切に応じたり、自分の考えや気持ちを伝えたりするための表現を考えさせます。
- ◎「コミュニケーションスキル」
アイコンタクトやジェスチャーなど、相手に伝わりやすい話し方や聞き方を考えさせます。
- ◆“Let's check! 発問”でセルフチェックをしてみましょう。

Step 5 発問する場면을記入する

- ◎単元を通して、どの場面で発問するかを考えます。



Q 発問をすることはなぜ大切なのでしょうか？



指示や説明が中心となる授業は、テンポよく進められます。一方で、教員主導で授業が進み、児童のやり取りは教員が示したモデルどおりのものになってしまうことがあります。教員が指示や説明に加えて「発問」を行うことは、児童が思考を働かせ、目的・場面・状況等に応じたやり取りを考える上でとても大切なことです。伝え合いたい内容や英語表現を児童自らが考えることによって、型にはまらないやり取りが生まれるのです。